



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 街路事業】

事業名	街路づくり事業
事業箇所	都市計画道路 3・4・1号前橋水戸線 だいちょう おおはしちょう 佐野市大町～大橋町 大橋工区 L=193m
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 都市整備課

I 事業の概要

【現況】

目標事業期間 (変更前)	令和 2 年度～令和 9 年度 (令和 2 年度～令和 9 年度)									
事業経過	令和 2 年度 事業化 令和 3 年度 用地取得着手 令和 4 年度 工事着手									
全体事業費 [うち用地補償費]	23.9 (17.5) 億円 [4.8 (5.4) 億円] ※ () は前回計画時									
事業延長 [うち整備済延長]	L = 193m [L = 0m]									
進捗率	基準年次：【令和 7 年度末時点】 <table><tr><td></td><td>費用</td><td>進捗率</td></tr><tr><td>既投資事業費</td><td>17.4億円</td><td>73%</td></tr><tr><td>[うち用地補償費</td><td>4.4億円</td><td>92%]</td></tr></table>		費用	進捗率	既投資事業費	17.4億円	73%	[うち用地補償費	4.4億円	92%]
	費用	進捗率								
既投資事業費	17.4億円	73%								
[うち用地補償費	4.4億円	92%]								

【目的】

都市計画道路3・4・1号前橋水戸線は、佐野市中心市街地の東西シンボル軸として都市の骨格を形成する重要な幹線道路であり、また、緊急輸送道路に指定されてる防災上重要な路線である。

本事業区間は、近隣の小中学校の通学路であるが、歩道が未整備であり、路肩には電柱が林立している。また、令和元年東日本台風により、一級河川秋山川に甚大な浸水被害が発生したため、河川事業による河川改良復旧の実施に併せて大橋（築98年）の架替を実施する必要がある。

このため、本事業は現道を拡幅し歩道及び路肩を整備し、併せて大橋を架替することで、安全で円滑な通行を確保するとともに、電線類を地中化して防災機能を高め、緊急輸送道路として平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保し、良好な街なみ景観の創出を図るものである。

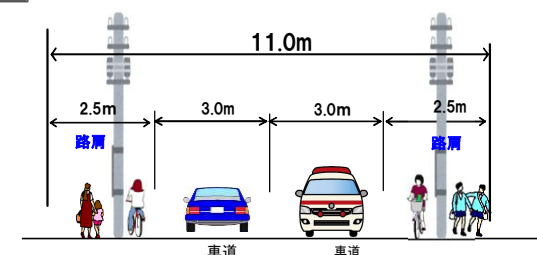
【事業概要図】



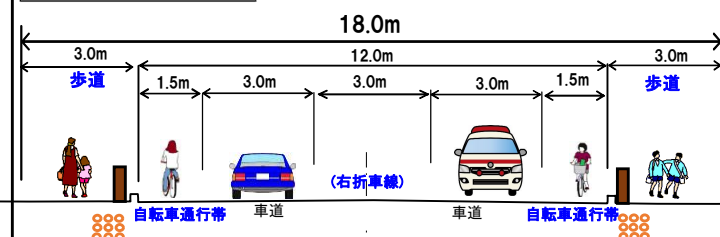
出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>)

【標準横断図】

現況

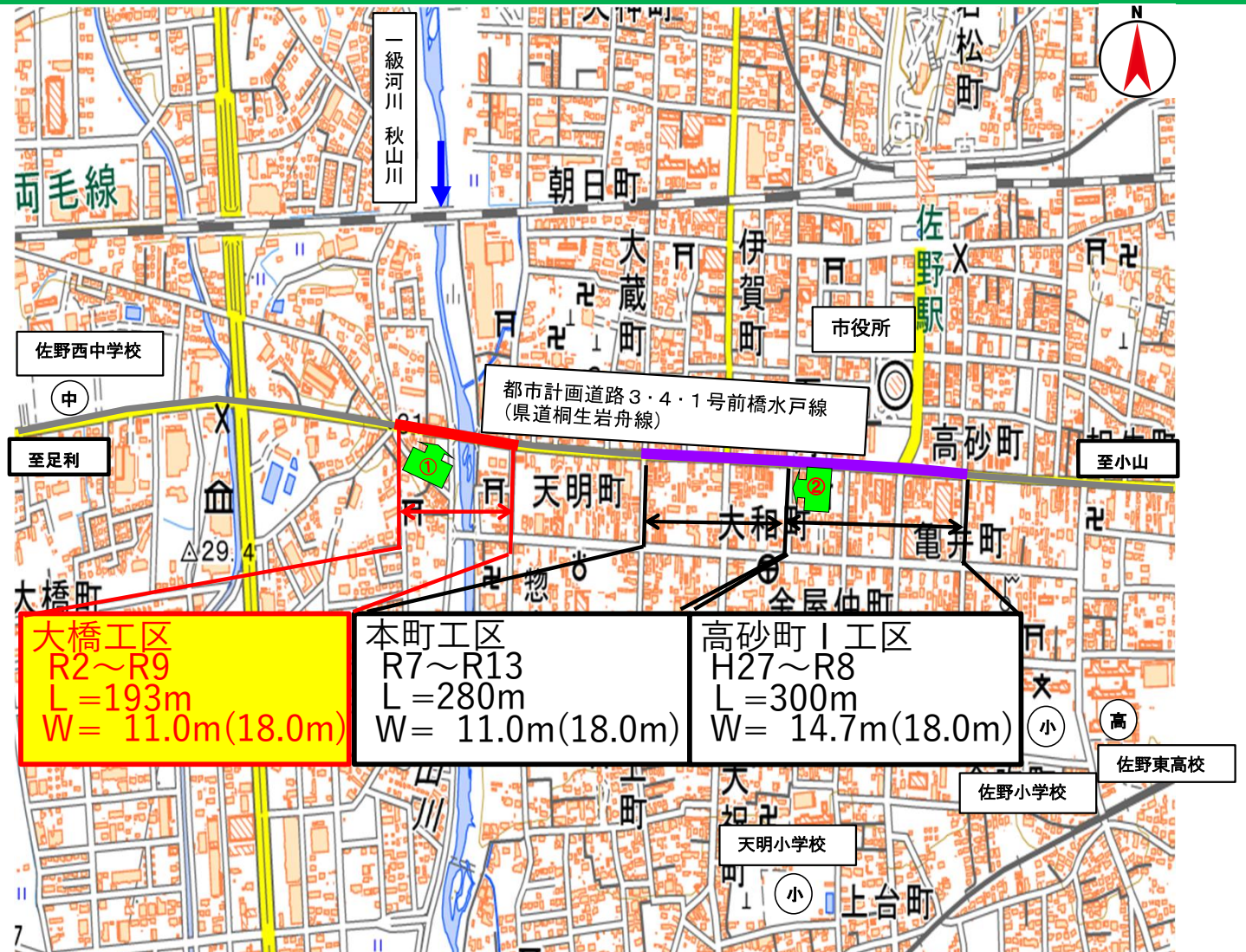


計画一般図



I 事業の概要

【箇所の概要】



凡例	
事業箇所	
事業中箇所	
緊急輸送道路	



II 事業の評価

【今後の事業進捗の見込み】

・事業期間の見直し
令和9年度 ⇒ 令和9年度

・総事業費の見直し
17.5億円 ⇒ 23.9億円

【全体事業費の見直し】

前回計画
(R2年度)

今回計画

	事業費	17.5億円 ⇒ 23.9億円 (+ 6.4億円)
内	工事費	12.1億円 ⇒ 19.1億円 (+ 7.0億円)
訳	用地補償費	5.4億円 ⇒ 4.8億円 (− 0.6億円)

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B / C	総便益 (B)	総費用 (C)
(1) 事業全体	電共、交安事業のため対象外		-
(2) 残事業	-	-	-

2 事業の整備効果等

- ・道路の拡幅や無電柱化及び橋梁架替により、平常時、災害時を問わない安定的な輸送が確保されるため、緊急輸送道路としての機能が強化され、佐野市の中心市街地の円滑な交通が確保される。
- ・歩道及び路肩の整備により、歩行者自転車の安全な通行が確保される。
- ・良好な景観形成により、佐野市中心市街地の活性化に寄与する。

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

※令和7年度末時点

1 事業の進捗状況

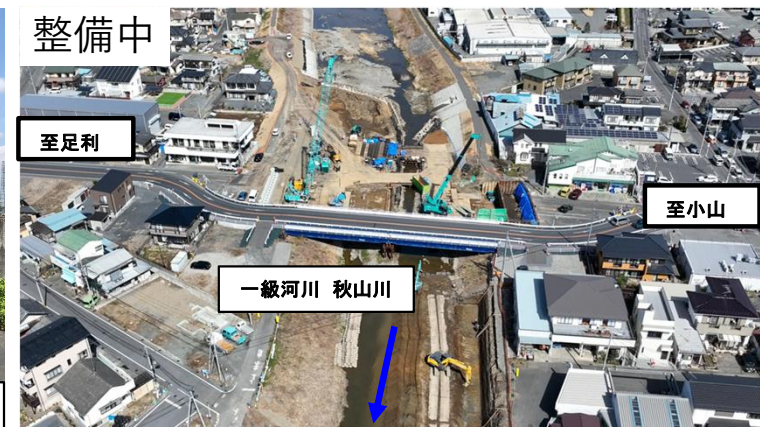
全体事業進捗率	73%
用地	92%
工事	68%

2 今後の事業進捗の見込み

- ・工事を推進し、令和9年度を目標に事業完了を図る。



大橋（橋梁架け替え）



【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- ・再生材の利用や建設発生土の公共工事間流用に努め、コスト縮減を図る。
- ・無電柱化の低コスト手法の活用によるコスト縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

- ・92%の用地補償を実施済みであり、一部工事にも着手していることから、引き続き現計画で事業を継続することが妥当と考える。

【事業の対応方針（案）】

- ・本計画で事業を継続する。